



学校だより ふうしゃ

平成30年3月1日  
アムステルダム日本人学校  
No. 26  
<http://www.jsa.nl/>

## チューリップ喜びだけをもっている

細見綾子

学校の玄関前のクロッカスが咲き出しました。まだまだ寒い朝が続いていますが、夜の明けるのが早くなり、春の訪れは確実に近づいてきているのを感じます。「3月」という声を聞いただけで、木々が芽吹くように気持ちも膨らんでいきます。

春咲く花はみな明るいけれど、中でもチューリップは明るい、という句です。生きていくと喜びばかりでなく、悲しいことも苦しいこともあるのが、人の世の常ですが、作者は「チューリップは暗さを知らず、喜びそのもの。わが陰影の中にチューリップの喜びが灯る。」と言っています。もうすぐ、オランダのあちこちにチューリップがあふれる、そんな明るい季節がやってきます。

しかしながら、3月は卒業式、修了式、離任式と子どもたちにとっては別れの季節でもあります。別れと出合いを繰り返し、人は成長していくものとは思いますが、子どもたちにとっては寂しい3月とも言えるでしょう。厳かな中にも記憶に残る式となるよう、準備を整えていきます。

保護者の皆様には、今年度も本校の教育活動にご理解ご協力を賜りまして、ありがとうございました。厚く感謝申し上げます。

### ◆3月の学校行事◆



### 離任式のお知らせ

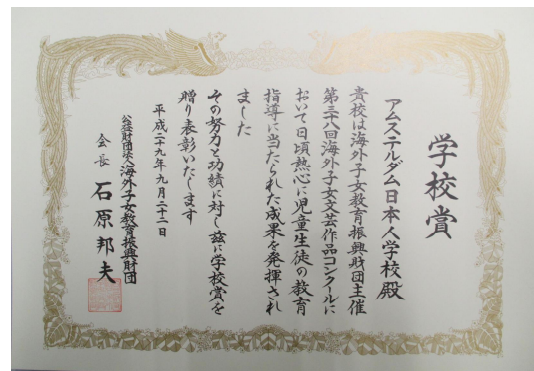
日時 3月16日(金)  
10時～10時40分

場所 体育館

※保護者の皆様、小学部、中学部の卒業生も参加できます。保護者の皆様は、体育館後方のドアから入り、児童生徒

### 海外子女文芸作品コンクール

### 「学校賞」受賞!



日本人学校や補習授業校、私立在外教育施設219校の中から応募数や優秀な成績をあげた20校が選ばれました。これからも文芸作品に親しみオランダに住む子どもたちならではの、豊かな視点での作品をどんどん創作してほしいと思います。

### ☆入選者☆

|        |    |            |
|--------|----|------------|
| 【短歌の部】 | 特選 | 牧野知洋さん(中2) |
|        | 優秀 | 宇治琴乃さん(小4) |
|        | 佳作 | 加藤進さん(小4)  |
| 【俳句の部】 | 優秀 | 廣瀬紗弥さん(小1) |
|        | 佳作 | 近藤莉奈さん(小2) |
|        | 佳作 | 坪井秀馬さん(中3) |

## おしゃか様の指

私が担任していたころに、必ず道徳の授業の中で扱った教材に「おしゃか様の指」という話があります。話は、以下のような内容です。

ある男が荷車を引いて荷物を運んでいました。すると、荷車がぬかるみにはまってしまいました。男は何とかぬかるみから荷車を出そうとして一人でもがきましたが、荷車はびくともしません。あきらめた男は、わきの大きな石に腰を下ろして、人が通るのを待っていました。しかし、その日は残念ながら誰も通りませんでした。日が傾き始めたころ、男は立ち上がり、また一人で荷車をぬかるみから出そうと必死になって引っ張り始めました。それを天上から見ていたおしゃか様が「人間には見えない指」でちょっと押すと、荷車は何もなかったようにカラカラと前へ進み出しました。

授業の中で、私が子どもたちにする質問はただ一つ。

「見えない指の存在を男に教えるべきかどうか」

子どもたちの議論は白熱します。「教えてしまったら、男が人をあてにするようになってしまう」「男が一人で努力していたからおしゃか様が手伝ったのだと思う」「教えなかったら、男は何でも自分でできると勘違いしてしまう」「事実は事実として男に伝えるべきだ」「じゃあ、なぜおしゃか様は見える指で押せばいいのに人間に見えない指で押したのか」「きっと男が人をあてにしないで自分で何とかしようとしたから、おしゃか様がそっと助けたのだと思う」「おしゃか様のように気づかれずにさりげなく人を助けるのってカッコいい」などなど。

授業の後半では、自分にとっての「おしゃか様の指」について子どもたちに考えさせます。

「自分のことを心配してくれるお父さんや、お母さんの思い」「色々なことを教えて励ましてくれる先生の思い」「相談にのってくれる友だちの思い」「自分の知らないところで、自分のことを助けてくれるかげの思い」などなど。授業を通して自分を支える「見えない指」の存在が次々と子どもたちに明らかになっていったものでした。

しかし、授業の中でいつも私が感じていたことは、自戒を込めてこの話の中の男はまさしく自分なのだと思っていました。自分を支えてくれている人々の思いに気づかなくてはいけないと。

アムステルダム日本人学校では、3年間校長としてたくさんの「おしゃか様の指」に支えられて学校運営をさせていただきました。何があっても変わりなく子どもたちをかげで支えて学校へ元気に送り出してくださった保護者の皆様。またPTA活動やボランティアとしても学校と歩調を合わせてご協力いただきました。学校の実情をよく理解して運営面で大きく支えてきてくださった理事会や大使館の皆様。そして、何よりも本校の職員・スタッフのみなさん。最後に我々職員にいつも元気を与えてくれた子どもたち。これらたくさんのおしゃか様の指に支えられながら、私は日本人学校を運営してることができたことに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。(尾後貫 智)